

令和8年2月12日開催

地域活性化・生活環境向上特別委員会

委員 長 報 告

令和8年3月定例会

委員 長 柳 田 つとむ

去る2月12日に開催されました当委員会の審査概要について、順次ご報告申し上げます。

初めに、報告事項の1「川口市朝日環境センターごみピット火災事故報告について」報告を求めましたところ、次のような説明を徴しました。

令和7年1月3日に川口市朝日環境センターにおいて発生した火災により、焼却施設が停止したことに伴い、家庭系一般ごみの収集が2日間に渡り停止し、大きな事故となったことから、事故原因等を分析することで、市民に対し、今後の分別回収への協力や理解を求めることを目的に、事故報告書を作成し、ホームページ等により周知を行うとのこと。

事故の検証では、第三者機関の意見を踏まえ、初動対応の見直し、消防設備・監視設備の改善、消防局への情報提供等の内容精査、火災の危険を伴うごみ混入防止のための正しい分別の実施等が課題として抽出され、これらの課題に対し、項目ごとに分け、それぞれに対応策を講じることで、再発防止に取り組むとのこと。

復旧工事費は、合計24億2,270万6,000円を見込んでおり、今後のスケジュールについては、令和8年3月に設備全体の復旧が完了し、同年9月までに自動放水銃等、再発防止のための設備を完成させる予定であるとのことでありました。

以上のような説明に対して、復旧工事費、外部処理委託費等の総額について問われ、これに対して、令和8年1月現在、約42億7,000万円を見込んでいたとのことでありました。

このほか、ごみ分別の啓発の取り組みについて等、質疑応答の後、本報告を終了いたしました。

最後に、報告事項の2「横曽根公民館・横曽根図書館建設事業について」報告を求めましたところ、次のような説明を徴しました。

本事業は、西川口公民館、横曽根公民館及び横曽根図書館の老朽化に伴い、西川口公民館の跡地に両公民館及び横曽根図書館を複合化した施設を新たに建設するものであり、2つの公民館を1つの施設に集約化したことは、本市で初めての試みであるとのこと。

令和8年2月の開館に向け、令和5年度から3か年継続事業により改築工事を実施したとのこと。

施設概要については、1階と2階の一部が図書館、2階の一部と3階が公民館であり、まず、図書館については、1階に一般書コーナー、閲覧スペース及びこどもの本コーナー等を、2階に書庫及び会議室等を設置したとのこと。

次に、公民館については、2階に会議室、ステージを備えた講座室及びホール

等を、3階に会議室、日本間及び料理実習室等を設置したとのこと。

また、敷地の南側に建物を配置し、北側に駐車場45台分、駐輪場100台分を設置したとのことでありました。

以上のような説明に対して、横曽根図書館の蔵書数について問われ、これに対して、約21万冊の収蔵が可能であり、現在の約18万冊から増やす予定であるとのことでありました。

このほか、AED等の設置状況について等、質疑応答の後、本報告を終了し、委員会審査を終了した次第であります。

なお、現地視察として、川口市朝日環境センターごみピット火災事故報告について及び横曽根公民館・横曽根図書館建設事業について視察をいたしましたことを付言いたしまして、報告を終わります。